



《笑顔でチャレンジ！》

学校だより

上越市立下黒川小学校

第 11 号

令和3年2月1日発行

Tel.536-2467 FAX.536-6506

学校評価 2学期の取組から

保護者の皆様には、教育活動に関するアンケート調査にご協力いただき誠にありがとうございました。児童と保護者のアンケート調査の結果をもとに、これまでの教育活動や児童の成長等について振り返りました。以下に、アンケート結果並びに今後の方針等についてお示しします。



みとめあう ～ かかわりを楽しむ子 ～

達成目標	達成状況
①「進んであいさつをした」児童 90%以上	児童 95.7% (保護者 81.2%)
②「わくわく(いろいろな)活動を通じ、進んで人とかかわった」児童 90%以上	児童 94.3% (保護者 84.0%)
③「進んで手伝ったり、困っている人に声をかけたりした」児童 80%以上	児童 88.6% (保護者 63.7%)

- あいさつについては、「進んで」という面に課題が残ります。児童主体の取組を行い、自分たちの課題として捉えることが必要です。柿崎区の「あいさつ週間」への取組を工夫したり、児童会主体の「あいさつ広げ隊」の取組を継続したりすることを通して、自分から進んであいさつができるように意識を高めていきます。また、あいさつ週間終了後も、上学年が下学年の教室にあいさつをして回る、登校後に職員室であいさつをするなど、取組を継続していきます。
- 1学期に比べ、様々な人や物とかかわる機会が増えました。活動後の振り返りをきちんと積み重ねてきたことで、活動に深まりが見られました。
- 「進んで手伝ったり、困っている人に声をかけたりした」については、目標は達成されていますが、友達に嫌な言動をしてしまったと自覚している子も見られます。「心班」のメッセージ交換を継続したり、各学級でも積極的に機会を捉えてメッセージ交換を行ったりすることを通して、相手を思いやる気持ちを育てていきます。また、全職員で子どものよさが光る行動を積極的に発信していきます。

まなびあう ～ 学びを楽しむ子 ～

達成目標	達成状況
①「『知りたい・調べたい』と進んで学習に取り組んでいる」児童 85%以上	児童 92.9% (保護者 72.4%)
②「分かったことを友達や家の人に伝えた」児童 85%以上	児童 91.5% (保護者 78.2%)
③「授業が分かる」児童 90%以上	児童 87.2% (保護者 85.3%)
④「本を読んだり本で調べたりするのは好きだ」児童 80%以上	児童 78.6% (保護者 58.0%)
⑤「進んで家庭学習に取り組んだ」児童 80%以上	児童 87.1% (保護者 73.9%)

- 2学期は、特に生活科や総合的な学習の時間の充実が図られ、意欲的に取り組む様子が見られました。また、分かったことだけでなく、分からないことを友達に尋ね、学び合う姿が見られるようになってきました。
- それぞれの学年において、学習内容が難しくなる時期にあります。分からなさや苦手意識を抱く子が増える傾向が見られます。3学期は「進級」を意識させ、当該学年の学習内容と家庭学習習慣の定着をめざします。また、一人一人が自信をもって次学年に進めるよう支援していきます。
- 学校図書の新し出し冊数の個人差が大きいです。国語や委員会活動などで、読書の楽しさを伝えていく必要があります。読書習慣を形成するために、学級文庫を定期的に入れ替えたり(国語の物語教材に関連する本を入れるなど)、金曜日の新し出し冊数を増やしたり(3冊)、朝読書(月、木曜)の時間に読むことに集中できるように配慮したりしていきます。

きたえあう ～ 運動を楽しむ子 ～



達成目標	達成状況
①「めあてに向かって進んで運動に取り組んだ」児童 90%以上	児童 90.0%（保護者 72.5%）
②「安全や健康に気を付けて生活した」児童 85%以上	児童 94.3%（保護者 85.5%）
③「家庭で決めたメディアのルールを守った」児童 80%以上	児童 84.3%（保護者 52.1%）
④「給食で苦手なものを残さず食べることができた」児童 80%以上	児童 77.2%（保護者 59.4%）

- ・2学期は下小五輪、文化祭でのダンスフェスティバルがあり、児童は意欲的に活動していた。児童の1学期の評価はあまり変わらないが、保護者の評価は低くなった。
- ・3学期の体育的行事に向けて、できる技が増えるように手本を掲示し意識を高めていきます。また、健康委員会主催の心班遊びを実施したり、なわとび運動を奨励しジャンピングパネルを設置したりするなど環境を整えていきます。
- ・感染症対策、熱中症対策、日ごろの健康管理をしっかりと行い、適切に対応してきました。3学期は感染予防を含め引き続き児童の健康管理に努めていきます。
- ・廊下を走る様子の頻度は減ってきましたが、怪我につながる危険性が高い場面が見られます。「廊下は歩きましょう」の掲示をしたり、遊具の正しい遊び方指導や安全面での注意を呼びかけたり、遊びのルールを徹底したりしていきます。
- ・メディアへの取組は、児童と保護者の認識に大きな差がみられます。情報モラル等について、高学年児童を対象とした講演を計画していきます。
- ・給食については、意識する児童が増えてきました。自分に合った量を残さず食べる、好き嫌いをしないで食べるように指導を継続していきます。また、栄養教諭の訪問時に食に関する学級指導を行ったり、学年だよりで給食指導に関する内容を掲載したり、残さないで食べたという実感がもてるように、配膳時に量の加減を工夫したりしていきます。

学校運営に関する項目等につきましては、保護者の皆様から高い評価（96.1%）を得ることができました。引き続き一人ひとりへの適切な見取りや対応を大切にしながら教育活動を推進してまいります。また、保護者の皆様よりたくさんのご意見やご感想をお寄せいただきました。その中で、以下のことについて改善してまいります。

- 次年度の教育活動に向けて下黒川小の伝統を重んじながらも創意工夫を重ね、学校行事やPTA活動等の見直しを図っていく。
 - 安心・安全な教育活動が進められるように環境整備（屋外用ホース、遊具整備等）に努めていく。
 - 今後も「分かる授業づくり」を継続していく。必要に応じて「個別指導」も取り入れていく。
- *学校へのご意見やご質問等がありましたら、いつでも学校までお知らせください。

～あいさつ運動の取組よ～



1月の生活目標「心のこもった あいさつをしよう」に合わせて、運営委員会が企画した「あいさつ運動～あいさつ広げ隊～」を実施しました。心班（縦割り班）で考えた「あいさつのめあて」を毎日振り返り、できたらスマイルシート（掲示板）にシールを貼っていきます。各班の取組の成果については、2月3日（水）に心班の班長が全校放送で振り返りの発表を行います。



あいさつは、「尊敬や親愛の気持ちを表わす人間の所作」と言われています。相手への尊敬や親愛の気持ちを表すことや、コミュニケーションとして肝心な最初の第一歩でもあります。子どもたちには、あいさつの大切さを理解し、しっかりと身に付けてほしいと願っています。

